

| | | | |
|----------------|---|------|------------|
| 科目名 | 人権論 | | |
| 教員名 | 龍神 美和 | | |
| 授業種別 | 週間授業 | 授業形態 | 講義 |
| 開講間隔 | 週 1 回 | 単位数 | 2 |
| 履修年次 | 1 | 学期 | 2021 年度 前期 |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育倫理、人権尊重に係る基礎的な知識や理論を習得する。 ・学校教育における倫理、人権について実践的な事例等を通じて理解を深める。 ・いじめ、体罰、虐待など、子どもたちのおかれている現状を把握し、指導・支援の基盤を習得する。 ・倫理、人権をテーマとする学びを通じて、社会人、教育者として求められる人間力を高めていく。 | | |
| 授業概要 | <p>本授業では、人権、倫理、道徳等に関する基礎的な知識を学ぶとともに、教育的アプローチについて学ぶ。教育の現場で取り組まれている人権教育の事例などを検証し、教育者としての必要な資質について探求する。また、グループ協議やワークショップなどの活動を通して、自己理解、他者理解を深めていく。</p> | | |
| 授業計画 | <p>第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 教育における倫理、人権尊重の意義について学ぶ 第 3 回 人権に係る基礎的な知識や法令を学ぶ 第 4 回 教職員に求められる資質について考える 1 第 5 回 教職員に求められる資質について考える 2 第 6 回 子どもの人権について考える (いじめ、体罰など) 第 7 回 子どもの人権について考える (虐待など) 第 8 回 子どもの人権について考える (国籍、性別、障害など) 第 9 回 人権教育について考える 第 10 回 倫理、道徳について考える 第 11 回 学校、保護者、地域社会との連携について考える 1 第 12 回 学校、保護者、地域社会との連携について考える 2 第 13 回 人権、倫理などをテーマとする教材を研究する 1 第 14 回 人権、倫理などをテーマとする教材を研究する 2 第 15 回 まとめ</p> | | |
| 授業方法 | 講義、事例検討、グループ協議、ワークショップ、発表等により行う。 | | |
| アクティブラーニングの視点 | グループ協議、ペアワーク、ワークショップ等を行う。振り返りシートなども活用する。 | | |
| 授業外学習 | その都度、復習しておくこと。課題についてレポートを作成すること。 | | |
| 教科書 | 『「現代社会の倫理を考える」教育の倫理学』丸善出版、加藤尚武 | | |
| 参考書 | 適宜、紹介する。 | | |
| 評価方法 | 試験 (小テストを含む) の成績が 60%、提出物 (提出状況、内容) 20% および授業への参加度 (発表、関わり方等) が 20%、但し、出席が規定の回数に届かない場合は評価外とする | | |
| 既修条件 | | | |
| 実務経験のある教員による授業 | 学校現場における教員経験のあるものが、その経験をいかして、幼児・児童・生徒の教育的ニーズ及び教育現場の現状ふまえた授業を行う。 | | |